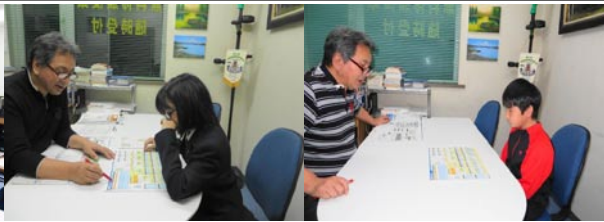


ホップ・ステップ



4/23 18年度最初の学力コンクール！



4月末、学力コンクールの結果をもとに面談



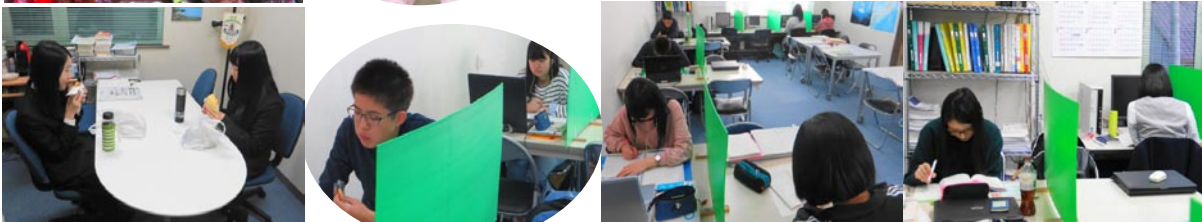
4/6から通常授業



4月も放射線技師の住川さん4月も沢山の差し入やお土産が大量のお菓子を差入です。産有難うございました。



高専生の田中君がアルバイトの収入で差入です。



勉強の前にまずは腹ごしらえ、湖陵の松井さんと山上さん

高校生の勉強の様子 ステップゼミナールでは高専生もちゃんと勉強します。先輩の教えです！もちろん普通高校の生徒もです。



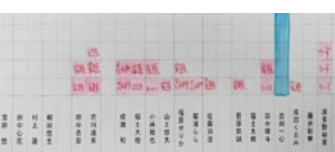
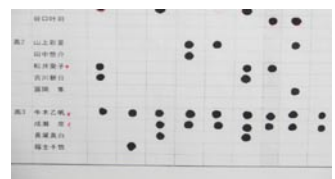
銚子仁会看護専門学校に合格した北陽高校の伊藤さん 浦河赤十字看護専門学校に合格の武修館高校の高橋さん 久しぶりの銚路総合振興局7期生で、昨年卒業の冬弥君のお母さん山岸さん(旧姓)に勤務する江南出身の小原君

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-------------------------|-----|----|----|----|----|------------|-----|----------|----------|----|----|----|----|-----|----|----|----|---|---|---|------|------|------|------|------|---|--|
| 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 | 日 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | |
| | | | | ★景雲修学旅行 | ●休塾 | | | | | ★富原・鶴居修学旅行 | ●休塾 | ◆中学生計算特講 | ●鶴居1中間試験 | | | | | ●休塾 | | | | | | | GW休み | GW休み | GW休み | GW休み | | | |
| | | | | 8年前の冬期講座、中3生だけで31名いました！ | | | | | | ★富原・鶴居修学旅行 | ●休塾 | ◆中学生計算特講 | ●鶴居1中間試験 | | | | | ●休塾 | | | | | | | | GW休み | GW休み | GW休み | GW休み | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

◆「これからどう取り組む」◆
それぞれ新しい学年に進んで一ヶ月、何事も始めが大切なことはみんな分かっていると思います。
4月末、学力コンクールの結果が届いたので一人一人と面談を行いました。各学年、スタート時点の成績ですから、結果はあまり気にする必要はありません。
4月のテストは前学年全部がテスト範囲です。毎年あまり良い結果ではありません。現在の自分の学力を確認し、各教科ごとに弱点を分析、目標に対して、それぞれ今後どう取り組んで行くのかを考える重要な資料なのです。
学力を向上させるには生徒本人の意欲や意識が全てと言っていいくらい大切です。よく言われる「やる気」です。
それは勉強のことだけに限りません。日常生活姿勢、部活に対する姿勢などを見ていると良く分かります。
大きな声であいさつをする、忘れ物をしない、遅刻をしない、部活に引きずられない、常に次に何を

するのかを考える前向きな姿勢と努力が成績の向上に繋がります。
近年、問題を見て考える前に「分かりません」という生徒が多いように感じます。考えるという脳細胞が停止しているかのようです。昔の生徒は、出来る出来ないにかかわらず、考えることはしていました。
最近、分かったことがあります。それは親の「過干渉の影響ではないか」と。
過保護より問題なのが過干渉と言われています。では過干渉とは何でしょう。親の過干渉とは、**子供が望んでいないことや嫌がっていることまでムリを強いること。子供のやりたいことを自由にやらせないこと。子供の行動を管理すること。**と言われています。
子育てや教育に熱心、といわれる人の中には、子供にあれこれやってあげてしまおう人もあると思います。が、その度が過ぎると子供にとってはただの悪影響になってしまいます。
影響を受けた主な特徴は、1・子供の交友関係に

口を出す 2・子供はこうあるべき、を押しつける 3・思いどおりにしようとする 4・親自身と子供の境界線がない 5・子供の意見が自分に合わないことが許せない だそうです。
過干渉な親は、自分がそうであることに気付いていないことが多いです。親が子供のためと思っている行動が、子どもが望むものでなければ、子供にとって大きな負担になっているのです。
守られ過ぎて今の子供たちに、自己責任を身に付けさせ、自ら考える事ができるようにするために、大人が、社会が考えなければならぬ大きな課題だと思います。
一方、生徒の方にも学力に影響していることが判るものがあります。下にある表は、上が春休み中の高校生の出席状況、12日間連続で来ていたのが湖陵の牛木さんです。真ん中は夏期講座終了時の宿題の終了状況、一番下が今年度始めたチェック表です。意識の低さが現れています。20個付いたら退塾になります。努力が認められれば消す事もできます。



チェック表の効果か、意識の高くなった生徒もいます。成績が向上する生徒は素直で塾の言う通りにやる人、忘れ物や遅刻をしない人、目標が明確で常にそれに向かって努力する人たちです。当たり前のことですよ。

5月の予定

中高生英語力 目標届かず！ 基準到達は4割—文科省調査

文部科学省は6日、全国の中高生らを対象とした英語力に関する2017年度の2種類の調査結果を公表した。英検3級相当以上の英語力を持つ中学3年生は40.7%（前年度比4.6ポイント増）、準2級相当以上の高校3年生は39.3%（同2.9ポイント増）で、政府が目層としていた50%に届かなかった。

「聞く」「読む」など4技能ごとの実力を測る抽出調査でも、該当級以上の生徒は中3で20～40%台、高3で10～30%台にとどまった。

中央教育審議会の答申では、空間ともに引き続き50%を目標としており、文科省は「各自治体から成功例や課題を聞き取って分析し、改善策を発信していきたい」としている。

3級は中学卒業程度、準2級は高校中級程度とされる。国は17年度までに中3、高3のそれぞれ50%が同程度以上の英語力を身に付けることを目標に掲げ、調査を行ってきた。

北海道43位と28位

17年度の都道府県別では、北海道が中3（32.8%）43位、高3（37.6%）28位。福井県が中3（62.8%）、高3（52.4%）ともにトップ。中3では東京都や石川県、さいたま市など政令市を含め計8都県市が目標を上回った。高3では福井県以外は届かず、宮城県は30%を切った。

英語教師で準1級相当以上の資格取得者は、中学で前年度比1.6ポイント増の33.6%、高校で3.2ポイント増の65.4%。いずれも17年度までの目標（中学50%、高校75%）を下回った。

4技能ごとの英語力では、前年度調査で初めて目標の50%を超えた中3の「書く」が46.8%に減少。「聞く」「病む」「話す」は、前年度より増加したが、いずれも30%前後と目標には及ばなかった。

高3では「聞く」が前回15年度よりも増加した一方、「話す」「書く」はほぼ横ばいで、「読む」はやや減少した。

※ 2種類の英語力調査

「英語教育実施状況調査」は全国の公立中学と高校の3年生を対象に、12月1日時点で、英検の該当級以上を取得したか、教師が相当以上と判断した生徒数や割合などを調べた。「英語教育改善のための英語力調査」は「聞く、読む、話す、書く」の4技能がバランスよく身に付いているかを測るため、全国の中高生を対象に抽出方式で実施。17年度は、国公立計約900校の中3と高3各約6万人が6～7月に受けた。



仕事よりプライベート、新入社員の8割弱に 日本能率協会調べ

8割弱の新入社員が「仕事よりもプライベートを優先したい」と考えている——。日本能率協会が12日発表した調査で、こんな意識が浮かび上がった。14年度の前回調査より約10ポイント増えており、自分らしい生き方や働き方をを目指す若者が増えていることがわかる。「売り手市場」の就職環境が続くなか、多様な働き方を可能にする環境づくりが人材確保の大きなカギになる。

3月下旬から4月上旬に、同会の新入社員向け公開教育セミナーの参加者を対象にネットで調査し、352人から回答を得た。回答者の過半数は従業員数が300人未満の中堅・中小企業に勤務している。

プライベートと仕事のどちらを優先したいか尋ねたところ「プライベート」という回答が75.8%に達した。前回の14年度調査を10.7ポイント上回った。「仕事」という答えは前回より9.5ポイント少ない24.2%だった。

日本能率協会KAIKA研究所の近田高志所長は「ボランティアなど社外活動を通じて自分らしい生き方を追求する若手社員が増えている」と話す。そのうえで、「企業も働く人の価値観の変化に対応しなければ、今後の人材獲得はいっそう難しくなる」と指摘する。

さらに、「実力・成果主義」と「年功主義」のどちらの職場で働きたいかという質問では、65%が実力・成果主義の職場を選んだ。前回調査から8.6ポイント多くなった。

近田氏によると、就職氷河期など買い手市場の時には年功主義を志向する割合が高まり、受け身の傾向が見られるという。これに対して18年入社組は「売り手市場の中で入りたい企業や、やりたいことを自ら選んでいるため、挑戦的でポジティブになっているのではないか」と分析する。

理想の上司・先輩像にも前向きな意識が反映されている。最も多かったのは「部下の意見・要望を傾聴する」で、前回最多だった「仕事について丁寧な指導をする」は2位に順位を下げた。逆に「仕事を任せて見守る」は前回の11位から4位になった。

一方、就職情報大手のリクルートキャリアは12日、新入社員にあたる18年春卒の大学・大学院生の3月の卒業時点での内定状況を発表した。同社サイトで募集したモニターの登録学生計5925人を対象に、3月16～22日に実施。大学生1272人、大学院生460人の回答を集計した。

大学生の内定率は96.7%で、前年同期を1.2ポイント上回った。人手不足による企業の採用意欲の高さを反映している。

さらに、民間企業に就職が決まった大学生に不安に感じるかどうかを聞いたところ、「不安なし」の割合が17年卒に比べて5.3ポイント高い22.6%を占めた。不安に感じる内容は「職場の人間関係」が76.4%で最多だった。

リクルートキャリアの担当者は「売り手市場で、新入社員の大半が志望度の高い企業に入社していることから不安に感じる人も減っているのではないか」と分析する。同社の昨年12月時点の調査では18年卒の80.9%は第1志望群の企業から内定を得たという。

就職した企業で「成長できそうだ」と回答した大学生は76.1%。「就職先が理想通り」は72.1%、「就職先でやりたいことができる」は61.5%と全般的に楽観的で、自信に満ちた新入社員が多そうだ。

つ・む・ぎNEWS 4/16



米紙「日本女性の扱われ方象徴」 土俵に女性海外メディアも報道

京都府舞鶴市の大相撲春巡業で救命に当たった女性が土俵から下りよう促された問題は、日本での女性の扱われ方を象徴しているなどと海外メディアでも報じられた。

米紙ニューヨーク・タイムズは「女性は人の命を救うときでさえ、決して土俵には上がることができない」とやゆした。また、「日本の女性は男女平等に関して多くの困難に直面している」として、結婚時に改姓を強いられたり、政治への参加率が低かったりする現状を紹介。この出来事は日本での女性の扱われ方を象徴している」と指摘した。

フランスのAFP通信は「相撲での性別をめぐるあつれきは今回が初めてではない」と強調。1990年、当時の森山真弓官房長官が土俵上で内閣総理大臣杯を授与する意向を示したが、日本相撲協会の反対に遭って断念した事例などを伝えている。（時事）

呼び出しは救命要請

4日に京都府舞鶴市で開催された大相撲の春巡業で舞鶴市長が倒れた際、土俵上にいた呼び出しが、救命処置を申し出た女性に看護師であることを確認した上で「ぜひお願いします」と対応を求めていたことが6日、関係者の話で分かった。

多々見良三市長はあいさつ中に倒れた後、いびきをかくなどの症状が見られた。このため、呼び出しは医療従事者の処置が必要と判断して迅速な対応を求めたという。その後、動転した行司が女性に土俵から下りようアナウンスで呼び掛けたことから混乱を招いた。

春巡業は6日、兵庫県宝塚市に興行の磨台を移し、開催のあいさつで同市の中川智子市長が「女性であるという理由で、土俵の上であいさつができない。伝統を守りながら、変革する勇気も大事でないでしょうか」と意見を述べた。

日本の伝統とは？守らなければならないものとは。

先日、札幌で行われたTVh落語 人間国宝柳家小三治の独演会に行ってきた。落語は高校生の頃から好きだったので、同じく人間国宝だった柳家小三や名人立川談志、古今亭志ん朝らの独演会にも行ったことがある。日本にしかない話芸の価値は外国にも認められている。日本の伝統文化でも現代社会や世界の基準にそぐわなければ見直す必要がある。日本相撲協会の姿勢には首を傾げざるをえない。